

2014.7.2 厚生労働省 安全衛生に関する優良企業を評価・公表する仕組みに関する検討会資料

「企業の取り組みの社会的評価の試行」

厚生労働科学研究 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「集団特性に応じた効果的な保健事業のあり方に関する研究」研究代表者

経済産業省 医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業

「『健康経営』による健康・医療の産業化調査事業」プロジェクト統括

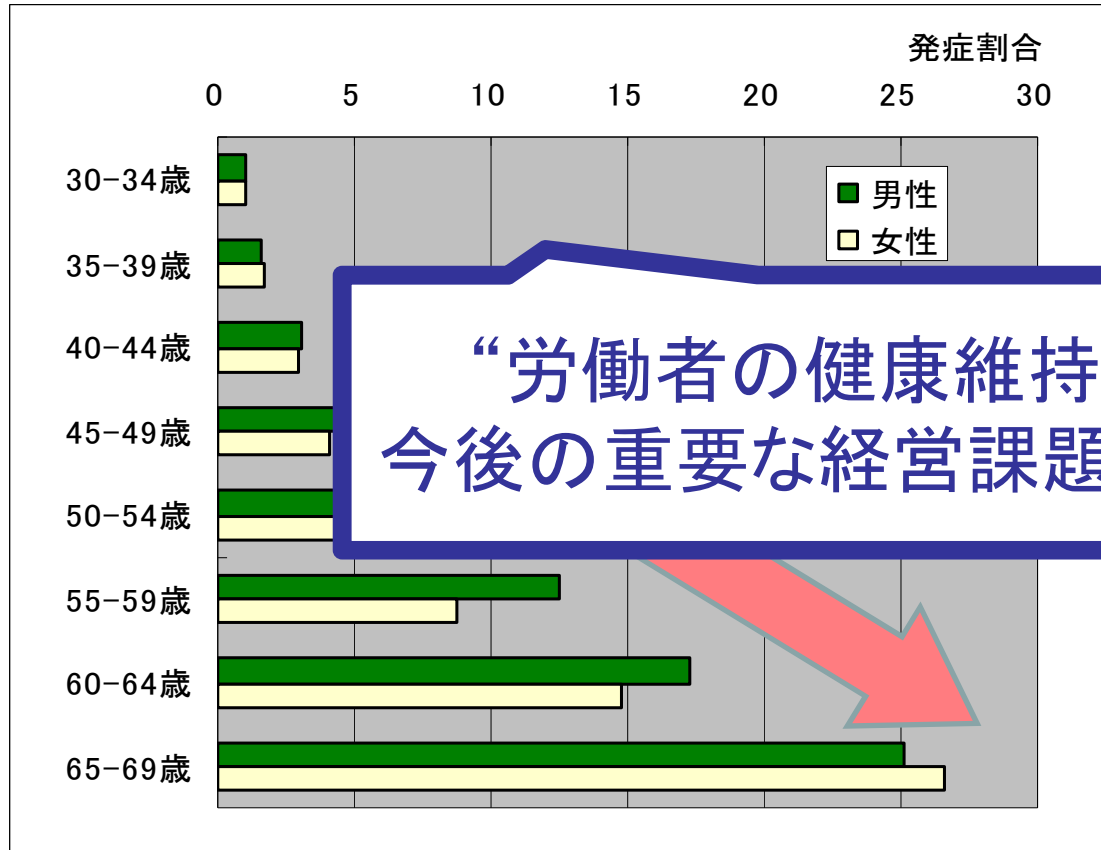
* 資料には上記成果を含みます

古井 祐司 医学博士 yfurui-tky@umin.ac.jp

国立大学法人東京大学 特任助教

ヘルスケア・コミッティー株式会社 代表取締役会長

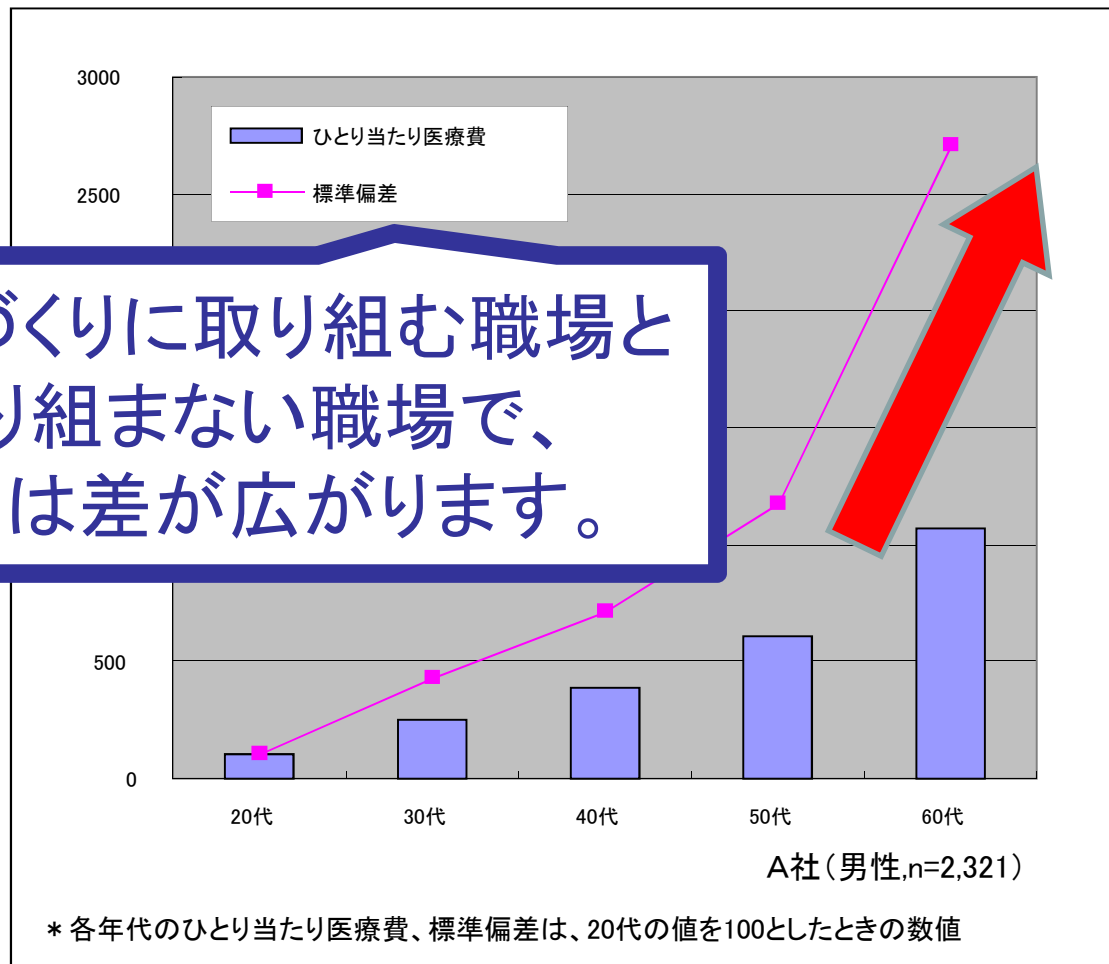
少子高齢化は集団の罹患率を上昇させます。



心疾患の発症割合

30代前半の発症割合を1としたときの性・年齢階級ごとの心疾患の発症割合を示しています。加齢とともに、発症率が高くなっています。(厚生労働省人口動態統計に基づき作成)

労働者の健康格差が拡大します。



年代ごとの一人あたり医療費および標準偏差

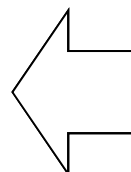
加齢とともに医療費は増加し、従業員ごとの差が大きくなります。

労働者の健康対策における課題

企業を取り巻く課題

ソリューションの提供

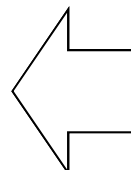
(1) 実施していない



必要性の可視化

– 改善ポイントの指摘

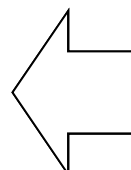
(2) 実施方法が不明、
効果的ではない



技術的な支援

– 対策に関する示唆

(3) 実施を促す
仕組みがない



**取り組みを
評価する仕組み**

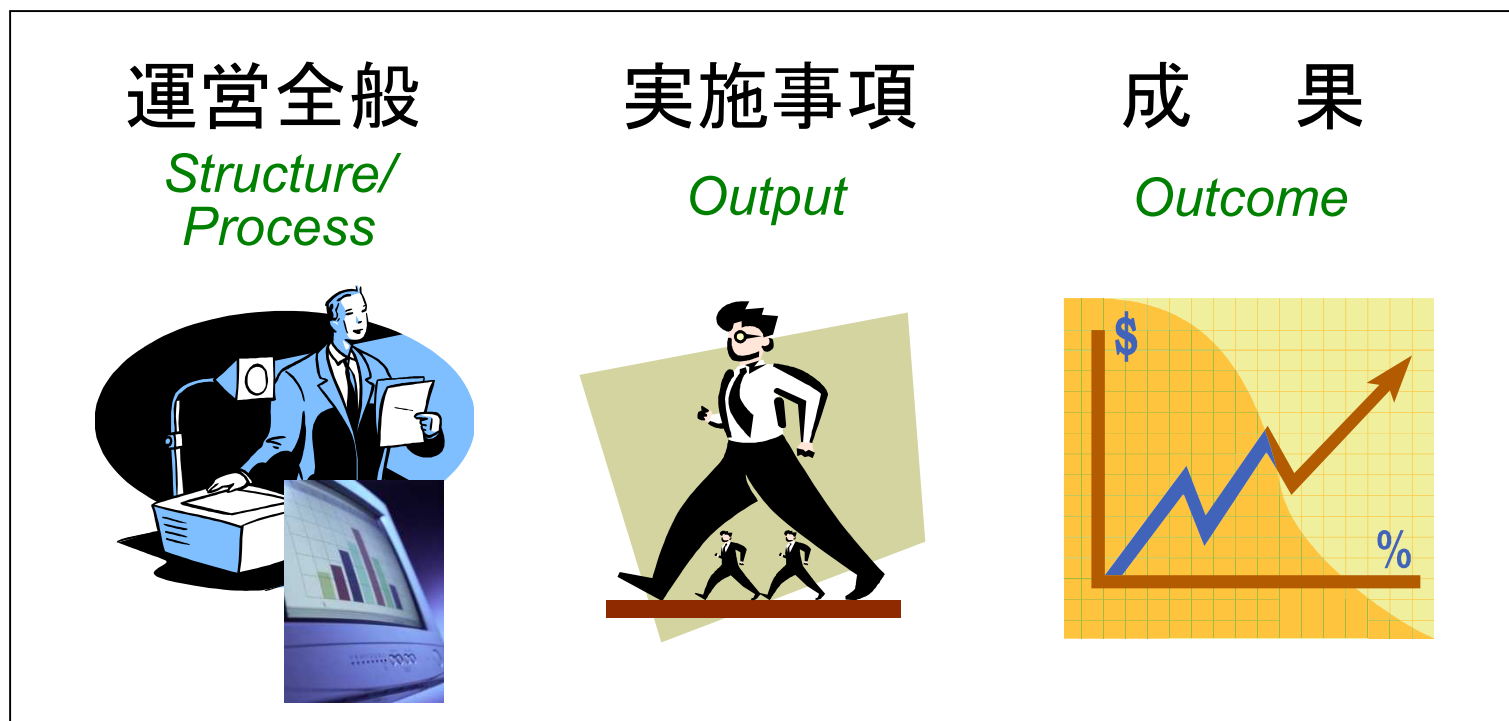
– 評価結果と連動した施策

評価体系の構築

経済産業省「医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業」

『健康経営』による健康・医療の産業化調査事業(2010-2012年度)

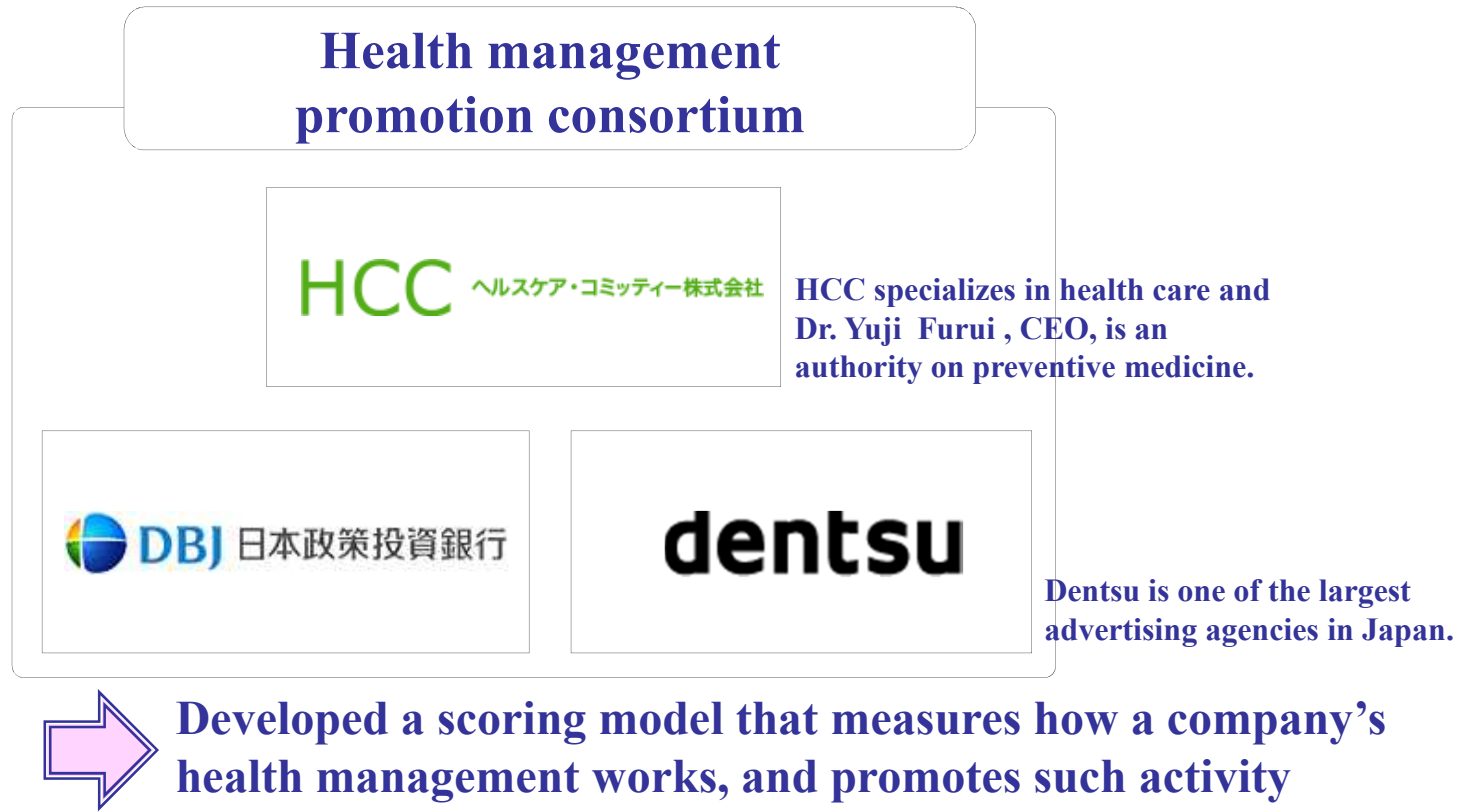
コンソーシアム;ヘルスケア・コミッティー(株)、(株)日本政策投資銀行、(株)電通



運営全般 (Structure/Process)、実施事項 (Output)、成果 (Outcome) から構成した。評価項目は運営全般、実施事項、成果の3つの大項目の下に、16の中項目、111の小項目の設定がある。

- Story of Developing DBJ HM Rating Program -

DBJ participates in health management promotion consortium and METI research program regarding “regulatory reform, industry creation in the health care area”



出典)厚生労働科学研究循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
「集団特性に応じた効果的な保健事業のあり方に関する研究」
OECD会議資料一部改変(2014.3)より

DBJ健康経営格付融資の背景

健康経営を社会的に評価する仕組みはOECDでも関心が高く、注目されている。



▶財務情報のみならず、**非財務情報**を積極的に取り込むことで、企業価値をより適切に評価する

▶ご融資利用のメリット

- ①金利メリット
(レベルに応じて金利を優遇)
- ②内部管理への活用
(取り組みのレベルアップ)
- ③CSR面のPR効果
(ステークホルダーへのアピール)



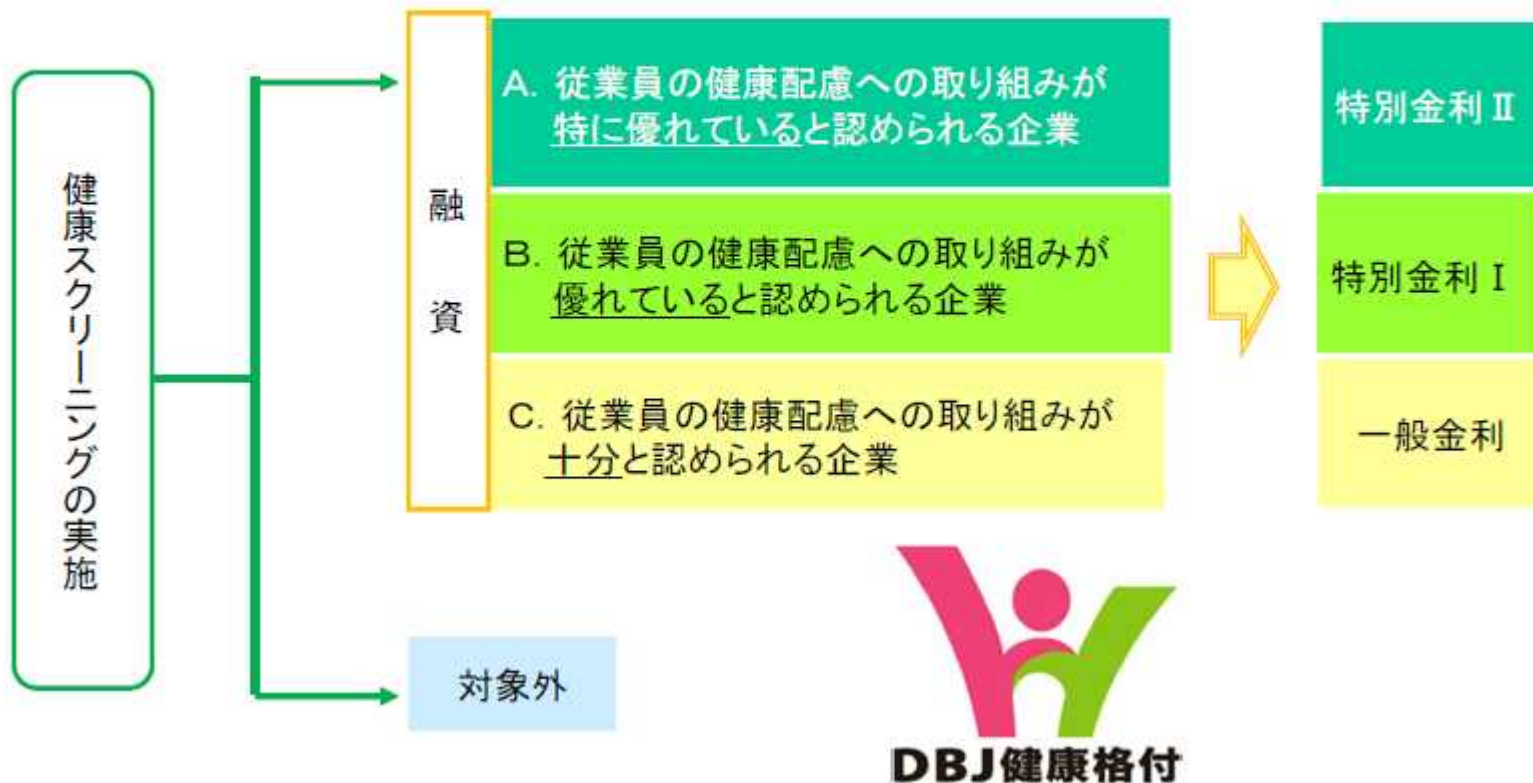
出典) 東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット創設記念シンポジウム
日本政策投資銀行発表資料(2013.2)より

DBJ健康経営格付の位置づけ

日本政策投資銀行では、非財務情報を積極的に取り込むことで、企業価値の評価に取り組んでいる。健康経営格付は、当行が実施するDBJ評価認証型融資のひとつに位置づけられた。

DBJ健康経営格付融資 商品設計

- 企業の健康経営の取り組み度合いを評点化し、融資条件に反映させる 世界で初めての融資メニュー（2012年からスタート）



出典) 東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット創設記念シンポジウム
日本政策投資銀行発表資料(2013.2)より

DBJ健康経営格付融資の概要

「健康経営評価」の結果を融資条件(金利)に反映させる仕組みとなっている。

一次評価 (自己採点)

- ・ 自己採点シートに自己採点を記入
- ・ 設問は111項目
(平成24年度版)

ヒアリング

- ・ 一次評価をもとにヒアリングを実施
- ・ 一次評価の背景、根拠などを確認する

二次評価

- ・ ヒアリング結果をもとに二次評価を実施

結果報告

- ・ 評価結果の報告を実施

評価の方法

評価にあたっては、自己採点、ヒアリングを経て最終的な評価を決定する。



アベノミクス“第3の矢”

「新たな成長戦略(日本再興戦略)」

戦略の進化
↓

3つのアクションプラン

■ 日本産業再興プラン

■ 戦略市場創造プラン

■ 国際展開戦略プラン

国民の健康寿命の延伸

「日本再興戦略」改訂2014; “経営者等に対するインセンティブ”

健康経営に取り組む企業が社会で
評価される枠組み等を構築

政府の成長戦略における健康経営の位置づけ

「日本再興戦略」改訂2014において、健康寿命の延伸に対応する新しい施策として、“経営者等に対するインセンティブ”の付与が示された。

おわりに(試行事業からの示唆)

■ 評価の狙い

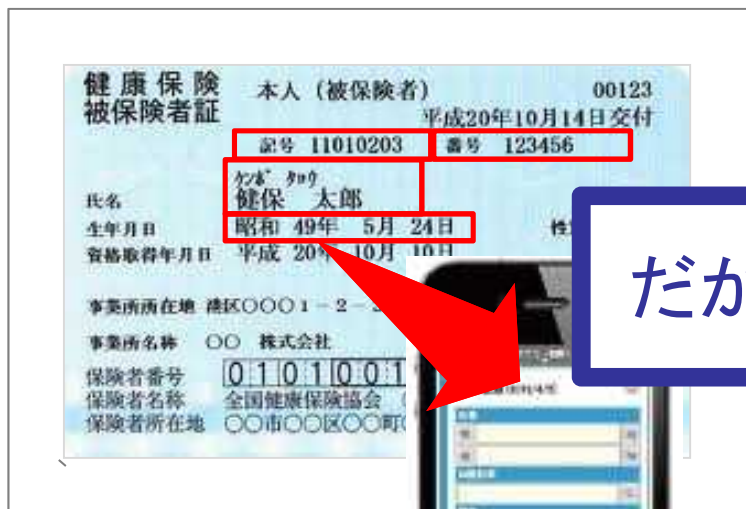
- 先行企業の抽出; スター戦略(民間の創意工夫が生きる)
- 企業群の底上げ; 基盤の整備(国の制度が生きる)

■ 評価の視点

- 労働者の健康増進(保険者機能の活用がポイント)
- 社会的な活動の支援(自治体との連携がポイント)

中小企業の参画を促す仕組みになれば、
地域の活性化にもつながる。

保険者(協会けんぽ)の資源が活用できます。



だから“健康”保険証なんです!

08月26日 月

- マイページトップ
- 私の記録
 - 今日の記録
 - まとめて記録
- 私の目標
 - まとめて記録
- 私の健康結果
 - データ登録/変更
- 私のイベント
 - OUFのイベント
 - まとめて記録
 - 予約管理
- 私のコミュニティ
 - OUFのイベント
 - レポート
 - ラウンジ
- ヘルシーレシピ
- カンタン運動メニュー
- 健康ライブラリー
- 歩数計データの取り込み

上の表の見方

- 正常
- 保険対象基準値を超えている
- 受診勧奨基準値を超えている
- 項目に関連する生活習慣が適切である
- 項目に関連する生活習慣の改善が必要である

● 正常域
● 保険対象の対象になる域
● 病院に行かなくてはいけない域

私の記録
本日分の記録

体重	kg	最高	mmHg
血圧	mmHg	最低	mmHg
歩数	歩		

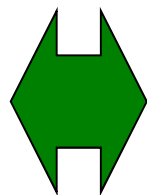
出典)厚生労働省(健康保険組合連合会)「データヘルス計画」説明会より

産官学連携に基づく研究拠点の整備



東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

2002 22世紀医療センターの創設



HCC ヘルスケア・コミッティー株式会社

2003 健康委員会の株式会社化



2012 健康経営の研究拠点

予防医学の社会適用

集団における効果検証



古井祐司(ふるい・ゆうじ)

東京大学大学院医学系研究科修了、医学博士。

同大学医学部附属病院22世紀医療センター等を経て、2012年より現職。2003年には予防医学の社会適用を図る健康委員会(ヘルスケア・コミッティー)を株式会社化し、代表取締役会長。産学連携のもと予防事業の検証に取り組む。著書に「わかるとかわる 特定健診・保健指導」(カザン)等。厚生労働省、経済産業省、東京都、健保連合会、国保中央会等で委員を務める。

主な研究活動;

効果的な保健事業の再構築;健康保険2013;67(11):28-34

Long-term care-service use and increases in care-need level among home-based elderly people in a Japanese urban area; Health Policy,110:94-100,2013

厚生労働科学研究循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「特定健診・保健指導における健診項目等の見直しに関する研究」研究分担者,2013-

「集団特性に応じた効果的な保健事業のあり方に関する研究」研究代表者,2012~2013